



再歩

～にぎわい再び～

CAFE & BAR MONKEY (代表 いちむらしゅういち 市村修一さん)

行政区：惣領3町内

惣領の一角にある「CAFE & BAR MONKEY」にお邪魔しました。ランチの営業を終え、一息ついたところで、オーナーの市村さんに話を伺いました。

市村さんは平成28年4月15日に店をオープンする予定でしたが、14日夜に地震が発生し、延期を余儀なくされました。また、8月に現在の家に入居するまで避難所を4度も変えるなど、転々とせざるを得ませんでした。

「その間、年中だった次男を毎日1時間半かけて、宇土の保育園まで連れて行きました」と、市村さんは当時の慌ただしさを語ってくれました。

店はオープンできませんでしたが、諦めることなく、直後から行動を起しました。5月から弁当の販売を始め、少しずつ準備を進めていたところ、惣領に屋台村ができることを知り、すぐに連絡を取って、6月から屋台村での営業を始めました。

仮設ではあるものの、店舗での営業を始めた市村さん。東北の被災業者者から、『復興の過程で土地利用がどうなるかわからない。自分の店舗で商売ができなくなるかもしれない』との助言を聞き、その年の12月ごろ、小規模事業者持続化補助金を利用しキッチンカーを購入。「業者者は毎日の売り上げがないと生活が成り立たないので、その影響を最小限に抑えるためにもキッチンカーは有効でした」と話しました。

益城町で笑顔が増える ようなことをしたい

平成29年10月に屋台村が閉鎖。その約1か月後に現在の貸店舗で店をオープンすることとなりました。

またそのころから、市村さんの心の中で益城町で笑顔が増えるようなことをしたいという気持ちが強くなっていきました。

以前から、倉本園芸の倉本憲幸さんと安永地区で『わいわい広場』というイベントを行っていたことや、町民が盛り上がる場所をもっと作りたいという思いから、『大きな祭りをしたい』と考えるようになり、年明けから有志を募りました。

祭りを計画していく中で、大変なことや、苦労があったかを伺うと、「細かいことはいろいろあったけど、会議や準備をしている間は楽しいことばかりでした」と返事が返ってきました。

また、「主催者側が楽しくないと、周りにも楽しさが伝わらない」とも話し、紆余曲折がありつつも、全体を通して楽しくできたことが、表情から伝わってきました。

そしてついに実現した、7月28日の『ぎなっせみんなのなつまつり』。『あそこまでお客さんが来てくれるとは思いませんでした。来場者に感謝したいと思います。もちろんいろいろ

な『運が良かった』部分があったとは思いますが、運が重なって、結果として成功したと思います。イベントを行う時はある程度、客層のターゲットを決めるのですが、町民を喜ばせることが目的だったので、今回はあえて設定しませんでした。祭りの開催にあたって大きな混乱もなく、スムーズに進行することができました。ごみを近辺に捨ててあるということもなく、とてもうれしかったです」と市村さんは振り返りました。

イベントの成功の秘策を伺ったところ、「人と人との関係」なので、こちらの想い・熱意をどれだけ相手に伝えられるか、相手と距離があっても、話し合えばその距離は少しずつ縮まるはずだと思います。実際に祭りの後から少しずつ変化が生まれ、『みんなが寄って盛り上げる』という雰囲気生まれつつあると感じています」と、生き生きと話しました。

最後に、自身の店について市村さん、「パッと見は若者向けのお店に見えますが、老若男女さまさまな方が来られます。ぜひお店に来て、みんな笑顔になりましょう!」。

今後の活躍に期待です!

産業振興課 商工観光係
☎ 286-3277